

元号について

市長 明智忠直



平成30年も1か月が過ぎました。30年という節目の年、また平成という元号があと1年数か月という時、改めて元号について考える正月でありました。明治、大正、昭和、平成と、明治維新からの激動の日本、歴史は元号とともに国民に深く刻み込まれているものと思います。

天皇陛下の退位が平成31年4月30日に決定されました。今まで平成という元号に親しんできた私たちにとって、一抹の寂しさと、新たな元号がどんな名称になるのか期待するところでもあります。明治維新から150年、今歴史の重みを振り返り、現代社会の平和が先人たちの尊い犠牲や、崇高な使命感から成り立っているんだと、一つ一つの歴史的出来事の重さを、私たちはしっかりと肝に銘じなければならないところであり

ます。日本は元号と西暦を併用していますが、時代の天皇陛下を示す元号を、

もっと大事にしてほしいと願うものであります。私は書類や挨拶の中で、元号を優先的に使わせてもらっています。日本人としての愛着、陛下への思い、国への思い、全てに通じるもので、私たちの心のふるさとでもあると私は思います。これから大事に使わせてもらいたいと改めて年の初めに感じたところです。

さて、私の随筆が今回で100回を数えることになりました。担当から伝えられ、ああもうそんなになるんだと、一回一回の積み重ねに時の流れを感じたところでもあります。ただ思いついたことや、市の行事への思いなどを書き留めたもので、およそ随筆の本質とは遠い思いながら、毎月原稿を書いていた自分の浅学非才を悔いているところでもあります。市民の皆様には励ましやお褒めを頂いたこともあります。これから私の思いをご愛読くださいますことを、心よりお願いしたいと思います。



市図書館だより

開館時間／火～金曜日…午前9時～午後6時

土・日曜日…午前9時～午後5時

今月の休館日／11日(日・祝)、13日(火)、15日(木)、22日(木)～27日(火)、毎週月曜日

岡市図書館 ☎62-2560 http://www.library-asahi-chiba.jp/

今月のおすすめ

「セブンス!」



五十嵐貴久 著
(KADOKAWA)

主婦も所属する女子ラグビーチーム「岩手ブロッサム」に新戦力の高校生が加入した。県民の期待を背負い、国体優勝を飾れるのか。

「駐在日記」



小路幸也 著
(中央公論新社)

平和な田舎と思いきや、発生するのは訳ありの事件ばかり。元刑事の駐在さんと元医者妻が、謎を解き明かす連作短編小説です。

新着図書

- | | |
|--------------------|------------------------|
| ●撮ってはいけない (飯野たから) | ●タンゴ・イン・ザ・ダーク (サクラ・ヒロ) |
| ●蒙古襲来と神風 (服部英雄) | ●火定 (澤田瞳子) |
| ●聴導犬のなみだ (野中圭一郎) | ●Dの遺言 (柴田哲孝) |
| ●植物園で樹に登る (二階堂太郎) | ●いのち (瀬戸内寂聴) |
| ●注文をまちがえる料理店(小国士朗) | ●白磁海岸 (高樹のぶ子) |
| ●一汁一菜日々ごはん (大庭英子) | ●ペダリング・ハイ (高千穂遙) |
| ●僕の音楽畑によくこそ (服部克久) | ●荒海を渡る鉄の舟 (鳥羽亮) |
| ●枕詞はサッチャン (内藤啓子) | ●本物の読書家 (乗代雄介) |
| ●おもかげ (浅田次郎) | ●樺を我が手に (蓮見恭子) |
| ●虹の向こう (池田久輝) | ●あいまい生活 (深沢潮) |
| ●リバーズ&リバーズ (奥田亜希子) | ●U (皆川博子) |
| ●東京ワイン会ピープル (樹林伸) | ●飼う人 (柳美里) |
| ●ぼくせん (木村忠啓) | ●龍の右目 (吉川永青) |
| ●皇帝と拳銃と (倉知淳) | |

おはなしの時間

幼児向きの絵本の読み聞かせ

日時／2月8日(木)

午後4時30分～5時

場所／市民会館